

小中合同防災訓練の振り返りから

6月24日（土）の防災訓練の後、学級で振り返りを行いました。その中で書いた作文の中から一部抜粋して紹介したいと思います。

①自分たちでできることは中学生の私にはあまりないかもしれないが、地域の人に貢献できるように頑張りたいと思った。私たち中学生が率先して動けるよう、日々積極的に活動したいと思った。私たちが生出にとって、足となるよう頑張りたいと思った。私たちの行動が誰かの助けになったらうれしい。（3年 女子）

②これから大きくなって行って、誰かの上の立場になったときに災害が起こってしまったら、全員が助かるように指示ができるかなと思いました。災害はいつ起こるか分からないけれど、いつ来てもいいように万全の体勢を崩さないようにしていきたいです。（3年 男子）

③実際に災害が起こったら今回の防災訓練で学んだことをしていかなければいけないので、覚えておかないといけないと思いました。中学生が一番動けるので、自分から進んで手伝いをしていこうと思いました。（3年 女子）

④防災訓練で改めて地域の人などと協力することが大事だと気づくことができたので、実際の時も今日の訓練を生かして冷静に対処していきたいと思います。（3年 女子）

⑤津波や地震、火事等の出来事は決して忘れてはいけないと思います。そして、それを次の世代へと受け継いでいくことが大事だと思います。今の自分に何ができるかを考えて、今日学んだことをしっかりと生かしていきたいと思いました。そして、一人でも多くの命を大切にしていきたいです。（1年 女子）

⑥震災で苦しんでいる人たちの立場になり、自分からできることを率先して行いたい。（1年 男子）

防災訓練から、地域への貢献、命の大切さ、自分ができることをやる、といったことを学んでくれたのだと感じました。東日本大震災から6年が過ぎ、人々の心の中から記憶が忘れられつつある現在、決して忘れてはいけない記憶だと改めて考える良い機会になったと思います。「自助」と「共助」を忘れずに、これからもしっかりと考え取り組んでいってほしいと思います。